

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
1354											
令和01年度				事務事業マネジメントシート							
事務事業名				伊達地域成人式開催事業				担当課		総務部伊達総合支所	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		総務企画		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～		
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分		市単独事業・国県補助事業 市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営	
		一般会計	10	5	1	成人式開催事業費					

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実にも努めます。								
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	当該年度に二十歳を迎える伊達地域の新成人	①意図（どのようになることを目指すか）	新成人に対し、大人としての自覚を持ってもらう。						
	初期	②①になるために必要な状態	新成人者が地域で祝福されることに喜びを覚え、大人への自覚を確かなものにする。								

指 標	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
					目標値	103	100	100	100	100
		成人式出席者数	人	実績値	88	105	101			
				目標値	80	80	80	80	80	80
		出席率	%	実績値	85	81	83			
				目標値						
				実績値						

【DO（実施）】		
活動・アウトプット	事業概要	①地域の特色を生かし、地域の子どもたちを地域で祝福する観点から、旧町単位で式典を開催する。 ②実行委員会（新成人者）による記念交歓会の開催
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 令和2年1月12日午後2時より、成人式の第1部「式典」を開催し、101人の出席者に成人証書を授与した。式典終了後に記念撮影を行い、第2部「記念交歓会」では軽食を用意し、実行委員会を中心に立食パーティーを開催した。 総事業費 254,950円（予算額 283,000円）

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	合併前は例年1月2日に伊達ふるさと会館において開催されていた。合併後は、他の地域と同様に伊達ふるさと会館において開催している。 式典終了後に懇親会を開催。実行委員会組織により補助金で行っている。								
	根拠法令・要綱等			関連する個別計画						
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	新成人の数は、少子化等により減少しているが、式への出席率は80%以上を維持している								
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
		一般財源	千円	265	250	254	0	0	0	
		事業費計	千円	265	250	254	0	0	0	

事務事業 ID	1354	事務事業 名	伊達地域成人式開催事業	所属 課	総務部伊達総合支所
------------	------	-----------	-------------	---------	-----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	伊達地域会場として、厳粛な式典の挙行に努めると共に、終了後に恩師を迎え立食のお祝い会を開催し、出席者の記憶の残る行事の運営に努めた。
課 題	伊達市内1ヶ所に式典が統合されたときに、今まで伊達地域は午後の開催であったが、午前中の開催となり、開会時間の変更が生じてしまう。
対 策	出席者への周知を徹底し、早期に周知する。

【評価結果】

総合評価	統合	今後の事業全体の方向性やその内容	これまでは各支所毎にそれぞれ開催してきたが、今後は少子化の影響もあり、また時間、労力、経費の面からも、伊達市合同での開催としていく。
------	----	------------------	--

事務事業ID				理 事		支所長		副主幹		担当者						
1358																
令和01年度				事務事業マネジメントシート												
事務事業名				月館地域成人式開催事業				担当課				総務部月館総合支所				
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり						担当係				総務企画担当			
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進						事業期間		～					
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用						事業区分	市単独事業・国県補助事業				国県補助事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営						
		一般会計	10	5	1	成人式開催事業費										

【PLAN（計画）】								
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる					
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。					
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	新成人（月館地域の出身者及び在住者）	①意図（どのようになることを目指すか）	成人としての自覚、権利・義務・責任を認識する。			
	初期	②①になるために必要な状態	地域で祝福されることにより成人になったことを自覚してもらう。					

指 標	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
					目標値	38	40	35	35	35
	実績値	29	39	21						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
実績値										

【DO（実施）】							
活動・アウトプット	事業概要	地域の特色を生かし、地域の子どもたちを地域で祝福する観点から、旧町単位で式典を開催する。 実行委員会（新成人者）による交流会の開催					
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 伊達市成人式（月館会場）の実施 成人式式典開催の計画立案 実行委員会の立ち上げ及び当日運営 各種資料の準備 会場設営					

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	旧月館町から「成人の日」に係る記念式典として開催されてきた。								
	根拠法令・要綱等					関連する個別計画				
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	前年度と比較し出席率が低下した。 成人式に対する意識の変化（式の重みの変化）								
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	160	169	153	0	0	0	
		事業費計	千円	160	169	153	0	0	0	

事務事業 ID	1358	事務事業 名	月館地域成人式開催事業	所属 課	総務部月館総合支所
------------	------	-----------	-------------	---------	-----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	成人式式典を挙行後、同会場にて成人式出席の実行委員によるお祝い会を開催し、親交を深め地元を懐かしんでもらうよう努めた。
課 題	年々成人者が減少してきている。
対 策	伊達市1箇所開催に統一が必要。

【評価結果】

総合評価	統合	今後の事業全体の方向性やその内容	伊達市内すべての成人式が一つに統合され、生涯学習課の事業となったため。
------	----	------------------	-------------------------------------

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
1355											
令和01年度				事務事業マネジメントシート							
事務事業名				梁川地域成人式開催事業				担当課		総務部梁川総合支所	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		総務企画		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～		
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分		市単独事業・国県補助事業 市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営	
		一般会計	10	5	1	成人式開催事業費					

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。								
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	新成人者	①意図（どのようになることを目指すか）	社会人としての自覚を促し、権利・義務・責任を認識する機会とする。						
	初期	②①になるために必要な状態	成人になったことを自覚し、重責を認識することで地域活動に積極的に参加するようになる								

区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指 標	アウトカム指標	成人式出席者数	人	目標値	200	189	176		
				実績値	190	152	131		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

【DO（実施）】			
活動・アウトプット	事業概要	地域の特色を生かし、新成人を祝福する式典を開催する	
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 10月下旬から新成人者達が実行委員会を組織し、式の役割分担、立食懇談会でのイベント等を行う。	

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	旧梁川町から「成人の日」に係る記念式典として開催されてきた。								
	根拠法令・要綱等					関連する個別計画				
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	新成人者に成人証書を授与するとともに、成人式記念行事を開催し祝福している。								
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
		一般財源	千円	525	518	558	0	0	0	
		事業費計	千円	525	518	558	0	0	0	

事務事業 ID	1355	事務事業 名	梁川地域成人式開催事業	所属 課	総務部梁川総合支所
------------	------	-----------	-------------	---------	-----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 （目指すべき状態への 進捗度）	成人式式典を挙行後、同会場にて成人式出席の実行委員によるお祝い会を開催し、親交を深めふるさとを懐かしんでもらうよう努めた。立食懇談会はミニ同窓会化し交流が図られるため、参加者の満足度は高いと思われる。
課 題	年々成人者が減少してきている。
対 策	現在、各総合支所5か所で開催している成人式を、次年度からは伊達市内1箇所での開催とする。

【評価結果】

総合評価	統合	今後の事業全体の方向性やその内容	令和2年度からは、各総合支所5か所で開催している成人式を伊達市内1箇所での開催とする。
------	----	------------------	---

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
1357											
令和01年度				事務事業マネジメントシート							
事務事業名				霊山地域成人式開催事業				担当課		総務部霊山総合支所	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		総務企画担当		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		H30 ~		
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分		市単独事業・国県補助事業 国県補助事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営	
		一般会計	10	5	1	成人式開催事業費					

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。								
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	新成人（霊山地域の出身者及び在住者）	①意図（どのようになることを目指すか）	成人としての自覚を持ってもらう。郷土に対して愛着や発展を願う心を持つようになる。						
	初期	②①になるために必要な状態	大人になったことを自覚し、重責を認識することで地域活動に積極的に参加するようになる。								

区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指標	アウトカム指標	成人式出席者数	人数	目標値	70	82	60	60	60
				実績値	62	73	50		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

【DO（実施）】										
活動・アウトプット	事業概要	・旧町単位で式典を開催する（地域の特色を生かし、地域の子どもたちを地域で祝福するため）。 ・新成人で組織された実行委員会が中心となり、式典後に懇親会を開催する。								
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 伊達市成人式（霊山会場）の実施 成人式式典開催の計画立案 実行委員会の立ち上げ及び当日運営 各種資料の準備 会場設営								

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	旧霊山町から「成人の日」に係る記念式典として開催されてきた。								
	根拠法令・要綱等					関連する個別計画				
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	新成人者の数は少子化等の影響により減少傾向にあるが、式典への出席率は高く80%を維持している。								
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	268	261	271	0	271	271	
		事業費計	千円	268	261	271	0	271	271	

事務事業 ID	1357	事務事業 名	霊山地域成人式開催事業	所属 課	総務部霊山総合支所
------------	------	-----------	-------------	---------	-----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	新成人者の数は年々減少傾向にあるが、式典への出席率は高く80%を維持している。
課 題	新成人者で組織された実行委員会について、式典の終了とともに解散しており、地域自治組織やその他地域社会との関わりは薄い。また式典はこれまで旧町単位で開催してきたが、新成人者の数が減少しているため、市全体での開催についても検討が必要。
対 策	式典終了後も、新成人に地域コミュニティ(自治組織や霊山太鼓まつり実行員会等)に興味を持ってもらい、若い世代にも積極的に地域づくりに参加してもらえるように連携を強化する。

【評価結果】

総合評価	統合	今後の事業全体の方向性やその内容	これまで各地域で成人式を開催してきたが、令和2年度からは式を一本化し、生涯学習課で事業を行う。
------	----	------------------	---

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
1356											
令和01年度				事務事業マネジメントシート							
事務事業名				保原地域成人式開催事業				担当課		総務部保原総合支所	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		総務企画担当		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		平成18年度 ~ 令和元年度		
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分		市単独事業・国県補助事業 市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		その他	
		一般会計	10	5	1	成人式開催事業費					

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。								
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	伊達市成人式保原会場に出席する新成人者（主に保原町内小中学校に在籍した者）	①意図（どのようになることを目指すか）	成人としての自覚を持ってもらう。郷土に対して愛着や発展を願う心を持つようになる。						
	初期	②①になるために必要な状態	大人になったことを自覚し、重責を認識することで地域活動に積極的に参加するようになる。								

	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指標	アウトカム指標	成人式出席者数	人	目標値	241	237	247	—	—	—
				実績値	195	190	207			
	アウトプット指標	出席率	%	目標値	83.0	83.0	83.0	—	—	—
				実績値	80.9	80.2	82.1			
	活動指標	事業執行額	万円	目標値	894	858	886	—	—	—
				実績値	857	847	883			

【DO（実施）】			
活動・アウトプット	事業概要	開催地域の特色を生かし、地域の新成人達を地域で祝福する。	
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） ・11月上旬から、新成人の中から選抜（10名）で実行委員会を組織し、式当日まで、式の役割分担、補助金申請や立食懇談会でのイベント準備等の活動を行う。	

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	・平成13年（平成12年度）までは、式典を町民センター（現保原市民センター）、お祝い会を保原体育館で行い、お祝い会は保護者が中心となり体育館で立食パーティを行っていた。しかし、保原体育館には暖房機がなく不向きであり、市民センターで式典と立食パーティー両方を行うのは、該当者数からも無理であることから、現在の会場（セレビアスカイパレス）で行っている。 ・保原地域の立食パーティーは実行委員会組織により補助金で行っている。								
	根拠法令・要綱等			関連する個別計画						
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	合併後、出席率は約80%を維持している状況である。								
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
			都道府県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0				
		一般財源	千円	855	858	886				
		事業費計	千円	855	858	886	—	—	—	

事務事業 ID	1356	事務事業 名	保原地域成人式開催事業	所属 課	総務部保原総合支所
------------	------	-----------	-------------	---------	-----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 （目指すべき状態への 進捗度）	保原地域の出席率は82%で、同会場で行われた立食懇談会の参加率も高いことから、成人としての自覚の醸成が図られたと考えられる。
課 題	合併以来、旧町ごとに成人式を開催してきたが、伊達市の新成人であるという実感を得られる場面が少ない。
対 策	対象者も減少していることから、市民センターなどで、成人式を令和2年度から統一し開催すべきと考える。

【評価結果】

総合評価	統合	今後の事業全体の方向性やその内容	生涯学習課所管の成人式開催事業へ5地区分を一本化し実施する。
------	----	------------------	--------------------------------

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
2143											
令和01年度				事務事業マネジメントシート							
事務事業名				青少年育成市民会議団体支援事業				担当課		教育委員会子ども部子ども支援課	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		子育て支援係		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～		
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分		市単独事業・国県補助事業 市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営	
		一般会計	10	1	2	青少年育成事業費					

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。								
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	（直接）伊達市青少年育成市民会議（間接）市民（18歳未満の青少年）	①意図（どのようになることを目指すか）	市内すべての青少年が夢と希望をもって、心身ともに健やかに成長する。						
	初期	②①になるために必要な状態	市内すべての青少年の安全確保と健全育成のために、市民会議が中心となり、家庭・学校・地域と連携して青少年の健やかな成長に望ましい環境づくりに努め、各事業活動の推進を図る。								

	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指 標	アウトプット指標	事業実施回数	回	目標値	8	8	8	8	8	8
				実績値	8	8	8			
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

【DO（実施）】											
活動概要・アウトプット	事業概要	青少年問題を持つ重要性和多様性にかんがみ、広く市民の創意を結集し、関係諸機関各団体が連携を密にし、次代を担う青少年の健全な育成を図る。 論語塾、立志式を実施する。									
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） ・市民会議の開催（理事会 年2回・総会1回） ・年10回の子ども論語塾の開催（5月～2月） ・立志を迎える中学2年生を対象とした立志式及び講演会の開催（1月） 【講師：チベット出身歌手 バイマーヤンジンさん（大阪府在住）】 ・お祝いの開催（市内各中学校 1月末から2月初旬） ・少年の主張（作文）募集（対象：中学生） ・青少年健全育成推進大会の開催（11月）伊達市ふるさと会館 （参加者250名 内容：市民会議表彰 個人6名・7団体、少年の主張発表12名）									

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	全国的に青少年を巡る問題が多くなる中、昭和50年代に活動が開始された。 内閣府では、昭和53年から毎月11月を「全国青少年健全育成強調月間」と定めている。								
	根拠法令・要綱等	伊達市青少年育成市民会議規約			関連する個別計画		伊達市子ども・子育て支援事業計画			
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	生活を身につける場や機会が減り続けている。家庭・学校・地域が連携し、より一体となった子どもを育む取り組みが必要である。								
		年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度		
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)		
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
		一般財源	千円	7,155	6,798	6,798	4,337	4,337	4,337	
		事業費計	千円	7,155	6,798	6,798	4,337	4,337	4,337	

事務事業 ID	2143	事務事業 名	青少年育成市民会議団体支援事業	所属 課	教育委員会こども部こども支援課
------------	------	-----------	-----------------	---------	-----------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	青少年の安全確保と健全育成のために、市民会議が中心となり、家庭・学校・地域と連携して青少年の健やかな成長に望ましい環境づくりに努めた。
課 題	青少年が各地域の事業に積極的に参加できるための体制づくりが必要。 市民会議と各地域協議会との共有及び連携の強化が必要。 立志式のお祝い会の持ち方について検討が必要。
対 策	各地域協議会をはじめ、学校等との連携を図りながら地域の事業へ活動の輪を広げる。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	市内すべての青少年が夢と希望をもって、心身ともに健やかに成長できる環境を作る。
------	----	------------------	---

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
1348											
令和01年度				事務事業マネジメントシート							
事務事業名				家庭教育支援事業				担当課		教育委員会教育部生涯学習課	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		社会教育係		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～		
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分		市単独事業・国県補助事業 市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営	
		一般会計	10	5	1	生涯学習推進事業費					

PLAN（計画）					
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる		
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。		
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	市内の幼稚園・小・中学校の子どもを持つ保護者	①意図（どのようになることを目指すか）	市内の幼稚園・小・中学校の子どもを持つ保護者が安心して子育てができるようになる。
	初期	②①になるために必要な状態	講演会等による研修で学んだことを子育ての参考にしてもらうことで、「子育て」・「家庭教育」についての悩みが解消される。また、保護者同士のつながりが生まれ、お互い情報交換をするなど保護者同士が協力して子育てができる環境ができる。		

指標	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
	アウトプット指標	家庭教育講座等参加人数	人	目標値	2,300	2,200	2,100	2,100	2,100	2,100	
				実績値	949	1,656	1,750				
					目標値						
					実績値						
					目標値						
					実績値						

DO（実施）		
活動・アウトプット	事業概要	少年非行や児童虐待の深刻化、子どもの基本的な生活習慣の乱れなどに対応するため、家庭での教育力の向上を目的として実施する。子どもの成長過程によって生じる様々な悩みを解決するため、それぞれ幼稚園、小学校、中学校の保護者を対象に行っている。
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 各小・中学校、幼稚園、保育園等で実施される家庭教育講座への支援 保護者を対象にした家庭教育講演会の開催

現状把握									
現状・インプット	事務事業を開始した理由	子どもの教育では、学校教育と同様に家庭教育が重要な部分を占めている。子を持つ親を対象に、子育ての悩みや迷いを少しでも解消し、自信を持って子育てができるようになることを目的に事業を実施している。							
	根拠法令・要綱等				関連する個別計画				
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	家庭の教育力の向上、地域の教育力の向上がより求められるようになっており、家庭教育の充実が必要となっている。アンケートを実施し、保護者が抱えている悩みや、話を聞いてみたい内容や講師についてさまざまな要望が寄せられた。							
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都道府県支出金			千円	0	0	0	0	0	0
地方債			千円	0	0	0	0	0	0
その他			千円	0	0	0	0	0	0
一般財源			千円	269	245	410	327	410	410
事業費計			千円	269	245	410	327	410	410

事務事業 ID	1348	事務事業 名	家庭教育支援事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	----------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	前年度より参加人数が100人ほど増加した。各幼稚園、小中学校でニーズに応じた講演会等が実施され、保護者の家庭教育力を高めることに役立った。各団体の組織を活かすことができたことも、家庭教育を支える組織力の向上として成果と考えられる。
課 題	子育ての孤立化などの問題があり、不安を解消する機会が必要とされている。
対 策	今回成果としてとらえた各団体との連携を更に進め、組織からの参加に力を入れる。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	講演会アンケートの結果から、保護者に興味を持たれる子育てに関する講演や講師を検討し実施していく。
------	----	------------------	--

事務事業ID		2183		令和01年度		事務事業マネジメントシート		部 長	課 長	係 長	担当者
事務事業名		学校支援地域連携推進事業		担当課	教育委員会教育部生涯学習課						
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり		担当係	社会教育係					
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進		事業期間	～					
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用		事業区分	市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			
予算科目		会計	款	項		目	大 事 業		実施形態		一部委託
		一般会計	10	5	1	地域の教育力向上事業費					

【PLAN（計画）】					
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる		
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。		
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	市民・子ども	①意図（どのようになることを目指すか）	将来的に学校を中心とした地域の大人の活動が、子どもを支え地域をつくる。
	初期	②①になるために必要な状態	市民が学校を利用し、子供と一緒に活動するスクールコミュニティのボランティアとして地域コーディネーター及び支援スタッフの活動を支援している。		

指 標	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
	アウトプット指標	スクールコミュニティ 設置数	団体	目標値 実績値	2 2	2 2	2 2	3 3	3 3	4 4
	アウトプット指標	センター利用者数	人	目標値 実績値	300 409	300 556	600 1,110	1,300 1,500	1,500 1,500	
				目標値 実績値						
				目標値 実績値						
				目標値 実績値						

【DO（実施）】			
活動・アウトプット	事業概要	地域住民による学校支援や学校施設の地域開放、学校施設を利用した住民の学びや交流を進めるために、活動の拠点となる「ホームベースルーム」に地域コーディネーターを配置し地域の教育力向上を図る。	
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 平成27年度より梁川スクールコミュニティ設立。自主的・自律的運営の支援。平成31年度に月舘スクールコミュニティ準備室を設立し、市民の学習を支援している。	

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	平成24年度に小学校区単位の地域コミュニティ形成と地域活性化の観点から保原小学校を建設。実現の手段として「スクールコミュニティ」を立案。								
	根拠法令・要綱等	関連する個別計画								
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	平成24年度から事業をスタートした保原小学校では、地域コーディネーターと運営協議会を中心に「子ども祭り」等の事業を展開。婦人会や商工会、若連など地域の団体の協力を得、少しずつ連携・認識が広まっている。 梁川小学校では、平成27年度より事業がスタート。平成31年度に月舘スクールコミュニティ準備室を設立し、地域コーディネーターと学校を支援するサポーターを中心に事業を展開している。								
		年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度		
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)		
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	6,976	12,208	15,262	14,871	15,262	15,262	
		事業費計	千円	6,976	12,208	15,262	14,871	15,262	15,262	

事務事業 ID	2183	事務事業 名	学校支援地域連携推進事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	--------------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	地域コーディネーター及びボランティアの活躍により、学校を中心とした地域の活性化につながっている。 また月館地域においては、月館学園との連携を図りながら、新たな地域づくりのための協議を進めてきた。
課 題	スクールコミュニティの役割を明確にし、学校、地域との相互理解が必要である。また、学校の地域連携担当教諭との連絡を密にし、学校を中心とした地域との連携強化が必要である。
対 策	既設置以外の地域についてもスクールコミュニティを設置する。

【評価結果】

総合評価	改善・見直し	今後の事業全体の方向性やその内容	学校経営との協調を図りながら、地域住民が子どもたちの教育に積極的にかかわっていくという従来の枠組みを維持する。今後も学校からのリクエストに応え講師を探したり、新たな提案を行っていく。
------	--------	------------------	---

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者			
1359													
令和01年度				事務事業マネジメントシート									
事務事業名				成人式開催事業				担当課		教育委員会教育部生涯学習課			
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		生涯学習スポーツ係				
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～				
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営			
		一般会計	10	5	1	成人式開催事業費							

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。								
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	当該年度に二十歳を迎える新成人	①意図 (どのようになることを目指すか)	新成人が、大人になる自覚を持つ						
	初期	②①になるために必要な状態	新成人による実行委員会を組織し成人式を実施することにより、大人としての自覚をもつことができる。								

区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指 標	アウトプット指標	成人式 出席率	%	目標値	90	90	90	90	90
				実績値	84	86	79		
指 標	アウトプット指標	成人式 出席人数	人	目標値	630	630	630	630	630
				実績値	535	560	510		
				目標値					
				実績値					

【DO（実施）】											
活動概要・アウトプット	事業概要	伊達市の未来を担う新成人者の新たな門出を祝福する。また、地域の子どもを地域で祝福するという観点から旧町単位で式典を開催している。式典終了後は、新成人の代表で組織した実行委員会を中心に、地域の特性を生かした心に残るような懇談会を計画し、実施している。									
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 成人式式典・懇談会 新成人代表による市長訪問									

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	成人の日は、昭和23（1948）年に「1月15日は、おとなになったことを自覚し、自らいく抜こうとする青年を祝い励ます日」とし法律で祝日に定められ、平成12（2000）年に制定されたハッピーマンデー法に基づき1月の第2月曜日に改正された。								
	根拠法令・要綱等				関連する個別計画					
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	伊達市合併後も地域分散方式（5ヶ所）で実施している。少子化に伴い新成人が減少している。市内1か所で開催してはという声があがっているが、新成人は、中学時代の同級生での開催を望む声が多い。								
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	261	329	349	1,739	349	349	
		事業費計	千円	261	329	349	1,739	349	349	

事務事業 ID	1359	事務事業 名	成人式開催事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	---------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	出席人数は年々減少しているが、出席率については高い割合で推移しているのは、新成人にとって魅力ある式となっていると評価している。
課 題	出席人数が年々減少している。地区により対象者数にバラつきがあり、少ない地域では開催、実行委員会方式での実施が難しくなっている。
対 策	出席人数を増やすためには、式の内容をさらに魅力あるものにしていく必要がある。

【評価結果】

総合評価	改善・見直し	今後の事業全体の方向性やその内容	令和3年成人式からは、市内1か所で開催する。 新成人にとって魅力ある式となるよう、式典内容や記念品など、内容を検討する。
------	--------	------------------	---

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者					
1351															
令和01年度				事務事業マネジメントシート											
事務事業名				生涯学習ボランティア活動支援センター運営事業				担当課				教育委員会教育部生涯学習課			
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		社会教育係						
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～						
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業				
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業									
		一般会計	10	5	1	生涯学習推進事業費									
						実施形態		直 営							

【PLAN（計画）】									
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる						
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。						
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	市民	①意図（どのようになることを目指すか）	学習の成果や体験、趣味などを地域に生かしボランティア指導者としての活動を通じて、生きがいを感じる。				
	初期	②①になるために必要な状態	市民自らが自発的に生涯学習に参加したり、ボランティア指導者として生涯学習人材バンクに登録し活動している。						

指 標	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
	活動指標	コーディネートによる講座等 参加人数	人	目標値	15,000	15,000	20,000	21,000	22,000	23,000
				実績値	21,935	19,117	13,343			
	活動指標	人材バンクボランティア数	人	目標値	140	145	130	130	130	130
				実績値	140	133	120			
					目標値					
				実績値						

【DO（実施）】		
活動・アウトプット	事業概要	市民の生涯学習、青少年の体験活動、ボランティア活動等の推進のため、情報収集や情報提供、相談業務を行い、市民の学習意欲に応えるために支援を行う。
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 豊富な経験、知識、技能等を有し、地域で活躍している様々な人材を生涯学習ボランティアとして生涯学習人材バンクに登録し、活用を図ることにより、市民の学習活動や学校教育活動を支援する。また、市民の生きがいづくりや異世代間交流が推進される。 登録者の研修会を開催する。

【現状把握】									
現状・インプット	事務事業を開始した理由	生涯学習への市民の関心が高まり、身近なところでの学習機会が必要となってきた。一方、学習の成果や体験、趣味などを地域に生かしたいと思う市民が増加している。こうした市民や団体の学習活動支援をコーディネートする事業が、平成14年度から国県補助事業として推進された。							
	根拠法令・要綱等					関連する個別計画			
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	教育基本法や社会教育法の改正など、生涯学習の推進が図られている。年々生涯学習の指導者として活動したいという市民が増えている。市民の学習要求に十分な学習環境の整備が求められている。							
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都道府県支出金			千円	0	0	0	0	0	0
地方債			千円	0	0	0	0	0	0
その他			千円	0	0	0	0	0	0
一般財源			千円	2,173	2,462	2,430	2,503	2,430	2,430
事業費計			千円	2,173	2,462	2,430	2,503	2,430	2,430

事務事業 ID	1351	事務事業 名	生涯学習ボランティア活動支援センター運営事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	------------------------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	市民が生涯学習・ボランティア活動の推進のため、情報収集や情報提供等、市民の学習意欲にこたえるための業務であり、地域自治組織での自主的な生涯学習活動が定着しつつあり、今後ますます重要な事業であるとする。
課 題	高齢化等による、人材バンク登録者の減少 若い方の登録者が増えてこない 市民のニーズと登録者のニーズがかみ合わない
対 策	原則、人材ボランティアは無償で活動してもらっているが、年間ある程度の回数(10回以上)活動された方には、市として謝意を示すため、報償物品(商品券等)を交付する。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	地域の人材を活かして市民が学び合う仕組みを維持し、なおかつ提供できる学習内容に新しい分野を取り入れるよう意識する。市民のニーズに応え、さらに新たな学習を提供できるようにする。
------	----	------------------	---

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者			
2381													
令和01年度				事務事業マネジメントシート									
事務事業名				生涯学習指導員配置事業				担当課		教育委員会教育部生涯学習課			
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		社会教育係				
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～				
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
予算科目		会計		款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営		
		一般会計		10	5	1	生涯学習推進事業費						

【PLAN（計画）】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる		
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。		
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	おもに地域自治組織の生涯学習担当者 市民	①意図（どのようになることを目指すか）	地域自治組織等の生涯学習担当者が指導助言を受けなくても自主的な取り組みができるようになること。また、市民が自主的に学ぶ活動ができるようにする。
	初期	②①になるために必要な状態	各地区自治組織の中に生涯学習の中心的リーダーが存在し、市民が自主的に学ぶことができる講座等を開催している。		

区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指 標	アウトプット指標	リーダー研修参加者数	人	目標値	29	29	29	55	55
				実績値	28	29	53		
指 標	活動指標	生涯学習指導員 配置数	人	目標値	6	6	5	5	5
				実績値	6	6	5		
				目標値					
				実績値					

【DO（実施）】

活動・アウトプット	事業概要	生涯学習の特定分野について直接指導、学習相談、社会教育関係団体の育成等に当たるため、生涯学習指導員を配置する。	
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 社会教育、生涯学習などの特定分野における人材を確保し市民の生涯学習のための相談、助言を行う	

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由		平成26年度公民館が交流館へ移行となり、各地区公民館で実施していた公民館事業が地域自治組織での自主的取り組みとなった。地域で行う事業の円滑な推進のため生涯学習指導員を設置し、指導助言に当たる。また、引き続き市民対象の講座等の開催を担当。（社会教育指導員配置事業を終了し、生涯学習指導員配置事業に事業変更）							
	根拠法令・要綱等				関連する個別計画					
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）		組織が立ち上がったばかりなので、ほとんどの組織が自主的な取り組みはできていない状況であるが、梁川地区においては旧公民館長・主事そのまま生涯学習担当者となっている場合が多い。しかし、ほかの地区においては生涯学習指導員に頼り切っているところもある。							
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
その他			千円	0	0	0	0	0	0	
一般財源			千円	10,882	12,137	10,307	10,935	10,307	10,307	
事業費計			千円	10,882	12,137	10,307	10,935	10,307	10,307	

事務事業 ID	2381	事務事業 名	生涯学習指導員配置事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	-------------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	家庭教育講座・スタッフ研修会等市主催事業の運営、地域自治組織や地域生涯学習グループへの指導・助言・支援を行うための嘱託職員(生涯学習指導員)を配置する事業であり、今後、生涯学習の推進を図っていくうえで、欠かせない事業である。
課 題	交流館移行後の地域での生涯学習活動の在り方(地域によって生涯学習の考え方に温度差がある。)
対 策	今まで以上に、地域自治組織・各地区交流館等の連携を密にしながら、生涯学習事業を進める。生涯学習指導員には、より多く現場に出向き、地元の声を聞きながら、必要な支援・助言を行う。

【評価結果】

総合評価	改善・見直し	今後の事業全体の方向性やその内容	リーダー研修を数多く行い参加者の増加を図ってきたが、参加者の幅を広げた結果、地域での立場や肩書により研修課題に違いが必要であることがわかってきた。研修は継続しながら、対象者と内容のマッチングを進めていく。
------	--------	------------------	--

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
1352		令和01年度		事務事業マネジメントシート							
事務事業名				生涯学習推進会議運営・推進事業				担当課		教育委員会教育部生涯学習課	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		社会教育係		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		平成18年度 ～		
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分		市単独事業・国県補助事業 国県補助事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営	
		一般会計	10	5	1	生涯学習推進事業費					

【PLAN（計画）】					
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる		
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実にも努めます。		
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	市民	①意図（どのようになることを目指すか）	市民自ら社会教育や生涯学習のできる環境を整え、自主的に生涯学習や社会教育に取り組むことができる。すべての自治組織で自主的に活動ができるようになる。
	初期	②①になるために必要な状態	生涯学習指導員等の助言により市民自らが、地域に暮らす人々の自主的な学びに取り組んでいる。		

指 標	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
	活動指標	女性を対象とした事業 参加人数	人	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
				実績値	2,496	2,452	2,569			
	活動指標	高齢者を対象とした事業 参加人数	人	目標値	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700
				実績値	3,645	1,916	2,667			
					目標値					
				実績値						

【DO（実施）】		
活動・アウトプット	事業概要	生涯学習推進会議を開催し、生涯学習に係る諸施策を協議、推進する。また生涯学習推進計画の随時見直しを図る。また、各地域の旧公民館で行っていた各地区学級講座（高齢者学級、女性学級、市民学級）などの生涯学習事業にかかる経費などを負担する。
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 高齢者学級 「各地区高齢者学級」「伊達いきいきふれあい学級」「梁川おおぞら学級」「保原市民大学」「掛田高齢者学級」 女性学級 「各地区女性学級」「さわやかレディースだて」「梁川ときめきスクール」「梁川ひまわりスクール」「保原ナイスミセス学級」「霊山中央女性学級」など

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	平成2年に施行された生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律を基本としている。平成26年度公民館が交流館へ移行となり、各地区公民館で実施していた公民館事業が地域自治組織での自主的取り組みとなった。								
	根拠法令・要綱等				関連する個別計画					
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	地域自治組織が立ち上がった地域は、旧公民館事業を引き続き活動している。未組織の地域は教育委員会で開催している。市民はいずれかの活動に継続して参加している。								
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	1,706	2,356	1,806	1,403	1,806	1,806	
		事業費計	千円	1,706	2,356	1,806	1,403	1,806	1,806	

事務事業 ID	1352	事務事業 名	生涯学習推進会議運営・推進事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	-----------------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	この事業は、公民館時代から実施されていたものを、交流館移行後も引き続き教育委員会が支援する形で行ってきた事業である。各地域の自治組織での生涯学習活動も軌道に乗りつつあり、地域で様々な生涯学習に取り組んでいる。
課 題	・自治組織が設置されていない地域(梁川町梁川地区)における生涯学習(高齢者・女性講座)の取り組み ・参加者の市マイクロバスでの送迎、移動学習下見における職員随行、地域の文化祭経費の支出等、旧町公民館時代から続いている案件の見直し
対 策	・地域自治組織、各地区交流館等連携を取りながら、事業の見直しを進めていく。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	自ら学び、発見し、つながる生涯学習の基本的な姿勢は地域に根付き始めている。ただし地域性があり、意識の違いも見られるので、学習に対する自主性については今後も促進していく必要がある。
------	----	------------------	---

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
2073											
令和01年度				事務事業マネジメントシート							
事務事業名				スポーツ少年団支援事業				担当課		教育委員会教育部生涯学習課	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		生涯学習スポーツ係		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～		
	基本事業	2	スポーツ・レクリエーションの振興				事業区分		市単独事業・国県補助事業 市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営	
		一般会計	10	6	1	保健体育総務費					

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	スポーツ活動の普及と促進に努めます。さらに、競技力の向上を図るため各種事業への支援を行うとともに、市民がより良い環境のもとでスポーツ活動に取り組めるよう、施設の整備充実に努めます。								
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	市内の小学生	①意図（どのようになることを目指すか）	スポーツ少年団に登録しスポーツを行う。						
	初期	②①になるために必要な状態	小学生がスポーツ活動に取り組めるよう、スポーツの普及促進を図る。								

区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指 標	アウトプット指標	スポーツ少年団登録団体数	団体	目標値	40	40	40	40	40
				実績値	38	37	34		
	活動指標	スポーツ少年団登録団員数	人	目標値	750	750	750	750	750
				実績値	753	744	647		
				目標値					
				実績値					

【DO（実施）】											
活動・アウトプット	事業概要	スポーツ少年団に対して事業補助金を交付し、組織運営及び事務補助を行う。									
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動）									
		①補助金の交付事務 ②組織運営の事務補助									

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由		伊達市スポーツ少年団は、平成18年5月26日に設立され、その後、スポーツ少年団を支援する目的で開始された。							
	根拠法令・要綱等		関連する個別計画							
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）		伊達市スポーツ少年団は、青少年の健全育成中心の活動から競技志向まで個々の単位団の活動が中心になっている。少子化により団数、団員数は減少してきている。							
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
その他			千円	0	0	0	0	0	0	
一般財源			千円	890	846	846	677	846	846	
事業費計			千円	890	846	846	677	846	846	

事務事業 ID	2073	事務事業 名	スポーツ少年団支援事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	-------------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	子どもたちがスポーツに親しむため、スポーツ少年団は必要な組織であり、市として、団運営のための支援(財政支援)は必要であり、今後も継続すべき事業である。
課 題	少子高齢化により、子どもたちの数の減少、スポーツに関心のない子供たちの増加により、団運営は厳しくなっている。
対 策	子どもたちがもいつでもどこでも好きなスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブの設立支援を行っていく。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	スポーツ少年団活動の運営のため、市として支援(財政支援)を引き続き行っていく。
------	----	------------------	---

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
2369											
令和01年度				事務事業マネジメントシート							
事務事業名				スポーツ振興事業				担当課		教育委員会教育部生涯学習課	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		生涯学習スポーツ係		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		平成27年度 ~		
	基本事業	2	スポーツ・レクリエーションの振興				事業区分		市単独事業・国県補助事業 市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営	
		一般会計	10	6	1	保健体育総務費					

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	スポーツ活動の普及と促進に努めます。さらに、競技力の向上を図るため各種事業への支援を行うとともに、市民がより良い環境のもとでスポーツ活動に取り組めるよう、施設の整備充実に努めます。								
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	市民	①意図（どのようになることを目指すか）	市民がスポーツに親しむことで、健康で豊かな暮らしができる社会を実現する。						
	初期	②①になるために必要な状態	市民がスポーツ活動を行うことにより、健康増進、体力向上につながっている。								

指 標	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
	活動指標	スポーツ施設利用人数	人	目標値	220,000	230,000	240,000	250,000	260,000	270,000
				実績値	177,799	188,194	138,499			
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

【DO（実施）】										
活動・アウトプット	事業概要	市民がスポーツに親しみ、健康で豊かな暮らしができる社会を実現するため、市で実施していたスポーツ事業を伊達市スポーツ振興公社に委託する。								
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） ・公民館で実施してきた地域スポーツ大会 ・公社運営に係る事務所経費、役員報酬等								

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	平成27年より市で実施していたスポーツ事業を伊達市スポーツ振興公社に委託する。								
	根拠法令・要綱等					関連する個別計画				
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	市民が気軽にスポーツ活動等に参加できる状況にある。								
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	10,865	11,518	14,879	12,129	14,879	14,879	
		事業費計	千円	10,865	11,518	14,879	12,129	14,879	14,879	

事務事業 ID	2369	事務事業 名	スポーツ振興事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	----------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	市民が一人一スポーツに親しむことで、健康で豊かな暮らしができるための、環境整備・支援を行っていくために必要な事業である。
課 題	市民(特に子どもたち)がいつでも、どこでも気軽にスポーツに親しみやすい環境整備
対 策	スポーツ振興公社と連携を図りながら、社会体育施設の修繕等、市民がスポーツに親しむことのできる環境を整えていく。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	従来 of 事業に加えて、総合型地域スポーツクラブの設立支援を継続していく。
------	----	------------------	--

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
1494											
令和01年度				事務事業マネジメントシート							
事務事業名				スポーツ全国大会等参加奨励事業				担当課		教育委員会教育部生涯学習課	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		生涯学習スポーツ係		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～		
	基本事業	2	スポーツ・レクリエーションの振興				事業区分		市単独事業・国県補助事業 市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営	
		一般会計	10	6	1	保健体育総務費					

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	スポーツ活動の普及と促進に努めます。さらに、競技力の向上を図るため各種事業への支援を行うとともに、市民がより良い環境のもとでスポーツ活動に取り組めるよう、施設の整備充実に努めます。								
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	市民	①意図（どのようになることを目指すか）	市民の競技力が向上し、トップアスリートが育成される。						
	初期	②①になるために必要な状態	市民がより高い意識を持ちスポーツに取り組むことができるよう、競技力向上を推進するための環境づくりをしている。								

指標	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
	アウトプット指標	スポーツ全国大会等 参加件数	件	目標値	65	65	65	65	65	65
				実績値	73	48	38			
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

【DO（実施）】											
活動・アウトプット	事業概要	スポーツの全国大会出場者に対して奨励金を交付し、スポーツ振興及び技術の向上を推進する。									
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） ①奨励金交付会の開催 ②広報活動									

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由	スポーツ振興および技術の向上を推進するため、合併以前から旧5町において全国大会等の出場者に対して奨励金交付を行っている。								
	根拠法令・要綱等					関連する個別計画				
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	伊達市における全国大会出場者は、スポーツ人口の減少とともに年々減少傾向にあると思われる。								
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	8,045	4,803	1,510	1,510	1,510	1,510	
		事業費計	千円	8,045	4,803	1,510	1,510	1,510	1,510	

事務事業 ID	1494	事務事業 名	スポーツ全国大会等参加奨励事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	-----------------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	スポーツ全国大会等への参加件数は減少しているが、スポーツ振興および技術の向上を推進するうえで、必要な事業である。
課 題	スポーツ大会への出場を奨励することで、全国レベルのアスリートを育成できる指導者や組織などを整備していく。
対 策	奨励金制度の周知を積極的に行う。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	伊達市における全国大会参加件数は、スポーツ人口の減少とともに年々減少傾向にあると思われる。 そのような中で、市民がより高い意識を持ちスポーツに取り組むことができるよう、競技力向上を推進するための環境づくりを整備していく。
------	----	------------------	---

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者	
1495											
令和01年度				事務事業マネジメントシート							
事務事業名				スポーツ団体補助金交付事業				担当課		教育委員会教育部生涯学習課	
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		生涯学習スポーツ係		
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～		
	基本事業	2	スポーツ・レクリエーションの振興				事業区分		市単独事業・国県補助事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態		直 営	
		一般会計	10	6	1	保健体育総務費					

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	スポーツ活動の普及と促進に努めます。さらに、競技力の向上を図るため各種事業への支援を行うとともに、市民がより良い環境のもとでスポーツ活動に取り組めるよう、施設の整備充実に努めます。								
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	市民	①意図 (どのようになることを目指すか)	市民が積極的にスポーツ、レクリエーション活動に参加し、心身共に健康な市民生活を送る。						
	初期	②①になるために必要な状態	スポーツ、レクリエーション活動に参加する市民が増加している								

指標	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
	アウトプット指標	補助団体数	団体	目標値	8	8	8	8	8	8
				実績値	8	8	8			
				目標値						
				実績値						
				目標値						

【DO（実施）】										
活動・アウトプット	事業概要	市民のスポーツ意欲向上や健康増進に寄与する各種大会（伊達ももの里マラソン大会、三浦弥平ロードレース大会、チャレンジデー）等への補助を行っている。								
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 補助金の交付								

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由		市内で活動している団体が大会等を開催する事業に補助金を支出する。							
	根拠法令・要綱等				関連する個別計画					
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）		スポーツ人口及び団体は減少傾向にある。							
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	7,970	7,970	7,970	6,184	7,970	7,970	
		事業費計	千円	7,970	7,970	7,970	6,184	7,970	7,970	

事務事業 ID	1495	事務事業 名	スポーツ団体補助金交付事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	---------------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 （目指すべき状態への 進捗度）	すべての市民が積極的にスポーツ、レクリエーション活動に参加し、心身共に健康な市民生活を送ることができているとは言えないと思われる。しかし、スポーツに日常的に親しむ環境は、整備されつつあると思われる。
課 題	時代のニーズに対応し、多種多様な活動に対し補助していく必要がある。
対 策	補助団体や金額の見直しも必要

【評価結果】

総合評価	改善・見直し	今後の事業全体の方向性やその内容	補助団体及び金額の見直しを計画的に行う
------	--------	------------------	---------------------

事務事業ID				部 長		課 長		係 長		担当者			
2074													
令和01年度				事務事業マネジメントシート									
事務事業名				体育協会運営支援事業				担当課		教育委員会教育部生涯学習課			
政策体系	政 策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係		生涯学習スポーツ係				
	施 策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間		～				
	基本事業	2	スポーツ・レクリエーションの振興				事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業				実施形態		直 営	
		一般会計	10	6	1	保健体育総務費							

【PLAN（計画）】											
目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	スポーツ活動の普及と促進に努めます。さらに、競技力の向上を図るため各種事業への支援を行うとともに、市民がより良い環境のもとでスポーツ活動に取り組めるよう、施設の整備充実に努めます。								
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	市民	①意図（どのようになることを目指すか）	市民がスポーツ活動をすることにより健康になる。						
	初期	②①になるために必要な状態	体育協会の活動を通してスポーツ活動に取り組むことにより、市民の健康増進、体力向上がなされている。								

	区 分	指 標 名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指標	アウトプット指標	体育協会加入団体数	団体	目標値	215	215	215	140	150	150
				実績値	144	135	138			
	活動指標	体育協会加入人数	人	目標値	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
				実績値	2,900	2,775	2,322			
				目標値						
				実績値						

【DO（実施）】										
活動・アウトプット	事業概要	伊達市体育協会に補助金を交付する。 ※伊達市体育協会は地域の実態を掌握し、各層にわたり健全なスポーツ人口の一層の増大 と競技力向上を目指し、設立されている。								
	主な活動	令和01年度実績（実施した主な活動） 伊達市体育協会の運営及び各大会の開催。県民スポーツ伊達市大会を開催し、県北地域大会へ選手を派遣している。								

【現状把握】										
現状・インプット	事務事業を開始した理由		合併以前より補助金の交付を受け、事業運営が行われてきた。現在も事務補助を含めて支援している。							
	根拠法令・要綱等				関連する個別計画					
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）		伊達市体育協会として、各地区に支部を置き活動している。							
			年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	3,709	3,601	3,601	2,881	3,601	3,601	
		事業費計	千円	3,709	3,601	3,601	2,881	3,601	3,601	

事務事業 ID	2074	事務事業 名	体育協会運営支援事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	------------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	ふくしま駅伝、市町村対抗スポーツ大会(野球・ソフトボール)において、各体協から、市代表の選手を輩出するなど、市民の競技力の向上、スポーツ活動の普及・促進につながっている事業である。
課 題	少子高齢化等により、各地域の体協組織の会員の固定化等が見られる。
対 策	若い人が加入しやすい組織の仕組みづくりの構築

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	体協とスポーツ振興の在り方について、協議検討していく。
------	----	------------------	-----------------------------